

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山本町・利根運河ツーリズム推進事業			会計	款	項	目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課				
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	・市民及び来訪者 地域：流山本町・利根運河	意図	流山本町及び利根運河地域における観光振興・活性化を図る。
事業内容	両地域に現存する歴史的建造物を活用し、ギャラリーや飲食店、民芸品等の販売・展示を行う観光交流拠点をオープンさせ、イベントの開催など来訪者の誘客に努め、地域の活性化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	両地域の活性化と歴史的建造物の保存・継承を図る目的で「流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金」を平成23年6月に制定した。平成23年度2店舗、平成24年度1店舗、平成25年度1店舗、平成26年度2店舗、平成27年度1店舗、平成28年度1店舗、平成29年度1店舗、当該補助金を活用し、両地域における活性化及び観光集客に大きく寄与している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補助金の活用件数	1	1	1	件	↑↑↑
②	主要施設等入館者数	81319	99070	101592	人	↑↑↑	実績
③	主要イベント入込客数	243586	175605	188545	人	↑↑↑	実績
④	マスメディア（TV・ラジオ）露出数	10	11	7	件	↑↑↑	実績
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	観光交流人口の増加に伴い、地元住民や商店主の活性化に対する意識が向上し、地域住民の自主的活動（イベント、商品開発等）など新たな取組みが生まれている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・補助金を活用した古民家プロジェクトは、マスメディア等に取り上げられるなど認知度の向上が図られ、地域商店や施設入込客数の増加に繋がっている。			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		14,318,194	12,352,780	13,802,332			
事業費(b)(円)		6,712,894	5,419,130	7,023,212			
うち一般財源		6,712,894	5,419,130	7,023,212			
職員給与費(c)(円)		7,605,300	6,933,650	6,779,120			
人役・職員(人)		1.01	1.01	1.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	補助金を活用した事業を1店舗オープンさせる。	③取組の課題	【流山本町】夜の誘客をどう図るか 【利根運河】更なる店舗展開
②今年度(H29)に実施した取組	・補助金を活用した事業によるオープンに向け、1店舗の改修整備を終了 ・既存補助金活用店舗のプロモーション（マスメディアへの宣伝等）を実施	④今後(H30以降)の改善計画	【流山本町】夜をテーマとしたプロモーションを展開し認知度アップを図る 【利根運河】ストック物件の確保